

NPO 法人都城圏域高齢者の住まいと介護総合研究所

令和 8 年度第 3 回喀痰吸引等研修第一号・第二号研修カリキュラム及び日程表

基本研修 研修期間：講義（令和 8 年 10 月 22 日～12 月 10 日）演習（12 月 17 日、12 月 24 日の 2 日間）

研修会場（講義・演習）：NPO 高齢者住まい介護研修センター

実地研修 研修期間：基本研修修了後

研修会場：デイサービスよこいち、住宅型有料老人ホーム横市（又は、受講生就業先の自施設）

研修段階	回	開催日	科 目 名	講師
基本研修 （講義）	1回	10月22日(木) 9:30～17:30	開講式（0.5時間） 第1章 人間と社会（1.5時間） 第2章 保健医療制度とチーム医療（2.0時間） 第3章 安全な療養生活（3時間）	坂口 幸子
	2回	10月29日(木) 9:30～17:00	第3章 安全な療養生活（1時間） 第4章 清潔保持と感染予防（2.5時間） 第5章 健康状態の把握（3時間）	坂口 幸子
	3回	11月5日(木) 9:30～17:30	第6章 高齢者及び障害児・者の喀痰吸引概論（7時間）	坂口 幸子
	4回	11月12日(木) 9:30～16:30	第6章 高齢者及び障害児・者の喀痰吸引概論（4時間） 第7章 高齢者及び障害児・者の喀痰吸引実施手順解説(2時間)	坂口 幸子
	5回	11月19日(木) 9:30～16:30	第7章 高齢者及び障害児・者の喀痰吸引実施手順解説(6時間)	坂口 幸子
	6回	11月26日(木) 9:30～17:30	第8章 高齢者及び障害児・者の経管栄養概論(7時間)	坂口 幸子
	7回	12月3日(木) 9:30～17:30	第8章 高齢者及び障害児・者の経管栄養概論(3時間) 第9章 高齢者及び障害児・者の経管栄養実施手順解説(4時間)	坂口 幸子
	8回	12月10日(木) 9:30～14:30	第9章 高齢者及び障害児・者の経管栄養実施手順解説(4時間)	坂口 幸子
	① 講義 50.5時間（講義/必須研修）＊開講式0.5時間含む			
筆記試験		12月10日(木) 14:30～16:30	■試験（1時間） ＊出題形式：四肢択一 出題数：30問 ■採点・閉講式（1時間）	坂口 幸子
		② 試験 2時間（必須試験）＊採点及び閉講式1時間含む		
基本研修 （演習）	■演習は、筆記試験総正解率9割以上の者が受講できる。 ■演習内容 i 口腔内の喀痰吸引 ii 鼻腔内の喀痰吸引 iii 気管カニューレ内部の喀痰吸引 iv 胃ろう又は腸ろうによる経管栄養 v 経鼻経管栄養（i～vの各行為につき5回以上） 3. 救急蘇生法（1回以上）			
		12月17日(木) 9:30～16:30	喀痰吸引（約6時間）	坂口 幸子
		12月24日(木) 9:30～16:30	救急蘇生法、経管栄養（約6時間）	
	③演習時間 約12時間（受講生の人数等によって変動する）			
実地研修	■演習で評価基準を満たした者が実地研修に進むことができる。 ■実地研修実施施設 受講生就業先の自施設又はデイサービスよこいち・住宅型有料老人ホーム横市 ■実地研修の内容 i 口腔内の喀痰吸引（10回以上） ii 鼻腔内の喀痰吸引 iii 気管カニューレ内部の喀痰吸引 iv 胃ろう又は腸ろうによる経管栄養 v 経鼻経管栄養（ii～vの各行為につき20回以上） ＊実地研修は基本的には受講生が勤務している事業所又は、同一法人内の事業所で実施。受講生が勤務している事業所等で実施できないなど、実地研修先の確保が困難な方は、当登録研修機関が委託する実地研修実施施設で実施することができる。			
	■実地研修の期間と所要時間 基本研修修了後～(実地研修に要する時間は、実地研修の実施行為数等によって変動する)			
	合計時間	基本研修（講義・筆記試験・演習） ①+②+③＝約645時間 実地研修 実際に要した時間		